

2 なたね

(1) 国際的ななたね需給の概要 (詳細は右表を参照)

<米国農務省(USDA)の見通し>

【生産量】 2014/15年度 前年度比 ↓ 前月比 ↑

生産量は、EU、インド等で増加するものの、カナダ、豪州等で減少が見込まれることから、世界全体では前年度を下回り69.1百万トンとなる見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別には、EUで上方修正された。

【消費量】 2014/15年度 前年度比 ↑ 前月比 ↑

消費量は、中国で減少するものの、EU、カナダ、インド等で増加が見込まれることから、世界全体では前年度を上回り68.6百万トンとなる見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別には、EUで上方修正された。

【貿易量】 2014/15年度 前年度比 ↓ 前月比 -

世界全体の貿易量は、前年度より減少し、13.3百万トンとなる見込み。

国別には、輸出国では、ロシア、米国等で増加し、ウクライナ、豪州で減少する見込み。輸入国では、パキスタン等で増加し、EU、中国等で減少する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は行われていない。

【期末在庫量】 2014/15年度 前年度比 ↑ 前月比 ↑

期末在庫量は、前年度より増加し、世界全体で7.1百万トンとなる見込み。国別には、カナダ、インド等で在庫が取り崩されるものの、EU、中国等で積み増しされる見込み。期末在庫率は10.4%と前年度より上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別には、EUで上方修正された。

図-1 世界のなたねのシェア(2014/15年度)

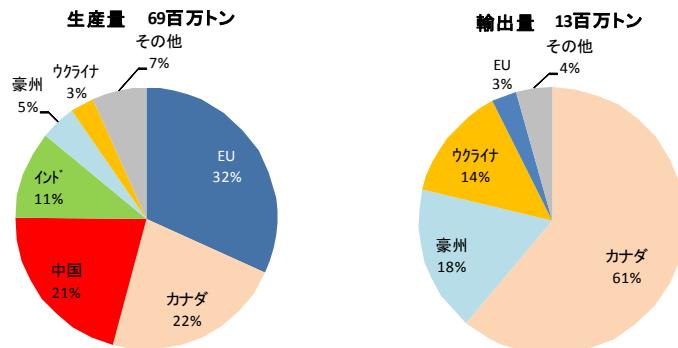


表-1 世界のなたね需給 (米国農務省)

(単位:百万吨)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	63.4	71.0	69.1	0.5	▲ 2.7
EU	19.6	21.2	22.0	0.5	4.0
カナダ	13.9	18.0	15.4	-	▲ 14.4
中国	14.0	14.4	14.5	-	0.7
インド	6.8	7.3	7.5	-	2.7
豪州	4.0	3.6	3.1	-	▲ 12.7
ウクライナ	1.2	2.4	2.0	-	▲ 15.0
ロシア	1.0	1.4	1.5	-	7.7
消費量	65.5	68.2	68.6	0.1	0.6
うち搾油用	62.5	65.1	65.3	▲ 0.0	0.3
EU	23.6	23.8	24.1	0.1	1.0
中国	17.6	18.2	17.7	-	▲ 2.7
カナダ	7.0	7.5	7.7	-	2.2
インド	7.0	7.4	7.6	-	3.4
日本	2.4	2.5	2.5	-	0.0
米国	1.3	1.7	1.8	-	3.3
メキシコ	1.4	1.5	1.5	-	2.8
貿易量 (輸出)	12.5	13.8	13.3	-	▲ 3.5
カナダ	7.1	8.1	8.1	-	0.0
豪州	3.7	2.6	2.4	-	▲ 9.6
ウクライナ	1.3	2.2	1.9	-	▲ 16.3
EU	0.1	0.4	0.4	-	8.1
米国	0.2	0.2	0.2	-	16.9
ロシア	0.0	0.2	0.2	-	17.0
(輸入)					
中国	3.4	3.7	3.5	-	▲ 5.4
EU	3.4	3.3	2.9	-	▲ 12.1
日本	2.5	2.5	2.5	-	0.0
メキシコ	1.4	1.5	1.5	-	2.8
パキスタン	0.6	0.8	0.9	-	6.3
アラブ首長国連邦	0.6	0.7	0.7	-	0.0
米国	0.4	0.9	0.8	-	▲ 19.8
期末在庫量	3.8	6.7	7.1	0.4	5.9
カナダ	0.6	3.1	2.9	-	▲ 8.1
EU	1.5	1.7	2.2	0.4	25.7
中国	0.6	0.5	0.8	-	56.4
インド	0.6	0.5	0.4	-	▲ 19.3
豪州	0.2	0.4	0.4	-	2.6
米国	0.1	0.2	0.2	-	0.0
日本	0.1	0.1	0.1	-	▲ 3.8
期末在庫率	5.8%	9.9%	10.4%	0.6	0.5

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、「Oilseeds: World Markets and Trade」(11 June 2014)

(2) なたねの主要生産・輸出国等の需給状況

ア カナダ

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より減少し、15.4百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、7.7百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度並みの8.1百万トンとなる見込み。

期末在庫量は前年度より減少し、期末在庫率も18.1%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は行われていない。

【生育進捗状況】

カナダ各州の公表資料(2014.5.23~6.4)によれば、2014/15年度のなたねの作付作業は急ピッチで進捗している。2014年5月末時点において、アルバータ州の作付進捗率は97~100%とほぼ終了、オンタリオ州は100%終了、サスカチュワーン州は67~86%、マニトバ州は35~90%となっている。一方、ケベック州では、過剰な降雨により作付作業が例年より1~2週間遅れており、5月20日時点において、作付進捗率は1~12%となっている。

イ 豪州

【需給状況】(詳細は右表を参照)

<米国農務省の見通し>

生産量は、前年度より減少し、3.1百万トンとなる見込み。

消費量は、ほぼ前年度並みの0.7百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、2.4百万トンとなる見込み。

期末在庫量はほぼ前年度並み、期末在庫率は12.6%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

豪州農業資源経済科学局(ABARES)「Agricultural commodities」(2014.6.11)によれば、2014/15年度の生産量は前年度より7.7%減少し3.5百万トンとなる見込み。これは、作付面積が前年度より3.1%増加し2.7百万ヘクタールとなるものの、単収が前年度より10.6%減少し1.3トン/ヘクタールとなるため。単収の低下は、エルニーニョ現象が発生した場合の雨不足を想定したもの。

我が国の輸入先国シェア1位(2013年数量ベース 93.8%)
世界の生産量シェア 2位(2014/15年度 22.3%)
輸出量シェア 1位(2014/15年度 61.0%)

表-2 カナダのなたね需給(市場年度:8月~翌年7月)

(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	13.9	18.0	15.4 (14.8)	-	▲ 14.4
消 費 量	7.0	7.5	7.7 (7.7)	-	2.2
うち搾油用	6.7	7.2	7.4 (...)	-	2.1
輸 出 量	7.1	8.1	8.1 (8.5)	-	0.0
輸 入 量	0.1	0.1	0.1 (0.1)	-	17.6
期末在庫量	0.6	3.1	2.9 (1.7)	-	▲ 8.1
期末在庫率	4.3%	19.9%	18.1% (10.5%)	-	▲ 1.8

(参考)

収穫面積(百万ha)	8.80	8.01	7.85 (7.91)	-	▲ 2.0
単収(t/ha)	1.58	2.25	1.96 (1.86)	-	▲ 12.9

資料:USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、「Oilseeds: World Markets and Trade」、「World Agricultural Production」(11 June 2014)
AAFC「Outlook for Principal Field Crops」(20 June 2014)

我が国の輸入先国シェア2位(2013年数量ベース 6.2%)
世界の生産量シェア 5位(2014/15年度 4.5%)
輸出量シェア 2位(2014/15年度 17.7%)

表-3 豪州のなたね需給(市場年度:12月~翌年11月)

(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、()はABARES	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	4.0	3.6	3.1 (3.5)	-	▲ 12.7
消 費 量	0.7	0.7	0.7 (...)	-	0.1
うち搾油用	0.7	0.7	0.7 (...)	-	0.0
輸 出 量	3.7	2.6	2.4 (2.6)	-	▲ 9.6
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (...)	-	0.0
期末在庫量	0.2	0.4	0.4 (...)	-	2.6
期末在庫率	3.8%	11.3%	12.6% (...)	-	1.2

(参考)

収穫面積(百万ha)※	3.20	2.57	2.45 (2.74)	-	▲ 4.7
単収(t/ha)	1.25	1.38	1.27 (1.27)	-	▲ 8.0

資料:USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、「Oilseeds: World Markets and Trade」、「World Agricultural Production」(11 June 2014)
ABARES「Agricultural commodities」(11 June 2014)(※ABARESは作付面積)

ウ ウクライナ

【需給状況】(詳細は右表を参照)

＜米国農務省の見通し＞

生産量は、前年度より減少し、2.0百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、0.2百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、1.9百万トンとなる見込み。

期末在庫量は前年度並み、期末在庫率も前年度並みとなる見込み。

なお、前月からの予測の改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

国際穀物理事会(IGC)「Grain Market Report」(2014. 5. 29)によれば、2014/15年度の生産量は、2.1百万トンと前年度(2.3百万トン)に比べ12%減少する見込み。これは、現地通貨の下落により、輸入肥料/農薬の調達コストが上昇しており、これらの使用量の減少や品質の低下が予想されることから、単収が前年度から大幅に低下すると見込まれるため。

ウクライナ農業政策・食料省によれば、2014年6月17日時点におけるなたねの収穫面積は0.5千ヘクタール、生産量は0.7千トン、単収は1.3トン/ヘクタール。

エ EU

【需給状況】(詳細は右表を参照)

＜米国農務省の見通し＞

生産量は、前年度より増加し、22.0百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、24.1百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より減少し、2.9百万トンとなる見込み。

期末在庫量は前年度より増加し、期末在庫率も9.0%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、生産量、消費量で上方修正された。結果として、期末在庫量が上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

米国農務省「Oil Crops Outlook」(2014. 6. 11)によれば、2014/15年度の生産量は、前月から0.5百万トン上方修正され、史上最高の22.0百万トンとなる見込み。ポーランド、ドイツ、ルーマニア及び英国では、2014年5月の降雨が例年より50~100%多く、単収が上昇する見込み。現在、これらの地域のなたねは、開花期から着きや期を迎えており、開花期から着きや期の乾燥は、単収の低下に繋がる。

世界の生産量シェア 6位 (2014/15年度 2.9%)
輸出量シェア 3位 (2014/15年度 13.9%)

表-4 ウクライナのなたね需給 (市場年度: 7月～翌年6月)
(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、0はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	1.2	2.4	2.0 (2.1)	-	▲ 15.0
消 費 量	0.0	0.1	0.2 (…)	-	4.1
うち搾油用	0.0	0.1	0.2 (…)	-	4.1
輸 出 量	1.3	2.2	1.9 (…)	-	▲ 16.3
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	▲ 40.0
期末在庫量	0.1	0.0	0.0 (…)	#N/A	0.0
期末在庫率	5.5%	0.0%	0.0% (…)	#N/A	0.0

(参考)

収穫面積(百万ha)	0.55	1.00	0.95 (0.94)	-	▲ 5.0
単収(t/ha)	2.20	2.36	2.11 (2.23)	-	▲ 10.6

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、「Oilseeds: World Markets and Trade」、「World Agricultural Production」(11 June 2014)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(20 June 2014)

世界の生産量シェア 1位 (2014/15年度 31.8%)
輸入量シェア 2位 (2014/15年度 22.0%)

表-5 EUのなたね需給 (市場年度: 7月～翌年6月)

(単位:百万トン)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値、0はEU	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	19.6	21.2	22.0 (21.2)	0.5	4.0
消 費 量	23.6	23.8	24.1 (24.3)	0.1	1.0
うち搾油用	22.7	22.9	23.0 (23.4)	-	0.6
輸 出 量	0.1	0.4	0.4 (0.2)	-	8.1
輸 入 量	3.4	3.3	2.9 (3.3)	-	▲ 12.1
期末在庫量	1.5	1.7	2.2 (1.0)	0.4	25.7
期末在庫率	6.2%	7.2%	9.0% (4.1%)	1.6	1.8

(参考)

収穫面積(百万ha)	6.33	6.81	6.85 (6.78)	-	0.6
単収(t/ha)	3.10	3.11	3.21 (3.10)	0.07	3.2

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「PS&D」、「Oilseeds: World Markets and Trade」、「World Agricultural Production」(11 June 2014)
EU「Balance sheets for cereals, oilseeds and rice」(4 June 2014)

オ 中国

【需給状況】(詳細は右表を参照)

＜米国農務省の見通し＞

生産量は、収穫面積が減少するものの、単収が上昇することから前年度より増加し、14.5百万トンとなる見込み。

消費量は、搾油用需要が減少することから前年度より減少し、17.7百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度より減少し、3.5百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より増加し、期末在庫率も4.7%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は行われていない。

【生育進捗状況】

2014/15年度のなたねは、2014年5月末までに収穫作業を終了した。

【貿易情報】

通関(海関)統計によれば、2014年5月の輸入量は前年同月比37.8%増の65.1万トンとなった。国別の輸入先は、カナダが64.7万トンと99.3%を占めた。また、2014年1～5月までの累計輸入量は、前年同期比41.7%増の234.5万トンとなった。国別には、カナダが190.4万トンと81.2%を占めた。

【その他】

中央一号文件(2014.1.19)に基づき、とうもろこし、なたね、砂糖の臨時買上げ・備蓄政策は、引き続き実施されることとなった。

中国政府は、なたねの生産を促進するため、最低価格保証と、耕作面積に応じた直接補助金を支給している。なたねの買上価格の下限は1トン当たり5,100元(8万6,700円)となっており、種子の購入補助金は1ヘクタール当たり150元(2,550円)となっている。

2014年5月30日、中国政府は、国産なたね5.0百万トンを国家備蓄向けに買上げる計画を発表した。買上価格は1トン当たり5,100元。

江蘇省、安徽省、湖北省、四川省のなたねの市場価格は、現在、政府が定める最低価格を下回っており、6月4日より当該4省において買い上げが開始された。市場価格が1トン当たり5,100元を超えた場合は、直ちに買上措置は停止される。

中国農業部は、2014年4月25日、優良品種補助政策として、揚子江流域の10の省等で栽培されるなたねについて、栽培面積1ムー(6.7アール)当たり、10元(170円)の補助金を支給すると発表した。

(⇒とうもろこし、大豆の中国の項も参照)

世界の生産量シェア 3位 (2014/15年度 21.0%)
輸入量シェア 1位 (2014/15年度 26.6%)

表-6 中国のなたね需給 (市場年度: 10月～翌年9月)

(単位:百万吨)

年 度	2012/13	2013/14 (見込み)	2014/15		
			予測値(0はOil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	14.0	14.4	14.5 (12.0)	-	0.7
消 費 量	17.6	18.2	17.7 (...)	-	▲ 2.7
うち搾油用	17.0	17.6	17.1 (...)	-	▲ 2.8
輸 出 量
輸 入 量	3.4	3.7	3.5 (...)	-	▲ 5.4
期末在庫量	0.6	0.5	0.8 (...)	-	56.4
期末在庫率	3.6%	2.9%	4.7% (...)	-	1.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.43	7.51	7.50 (6.85)	-	▲ 0.1
単収(t/ha)	1.88	1.92	1.93 (1.75)	-	0.5

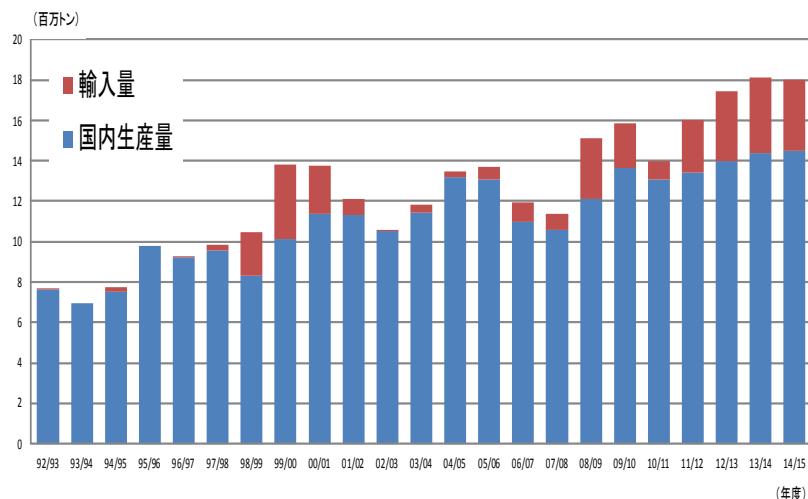
資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、

「Oilseeds: World Markets and Trade」、

「World Agricultural Production」(11 June 2014)

OIL WORLD 「OIL WORLD Monthly」(20 June 2014)

図-2 中国産なたねの生産量と輸入量の推移



資料: USDA 「PS&D」(2014.6) をもとに農林水産省で作成